

ベルマーク通信 4月号

「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」。

ベルマーク運動は、そんな願いをこめて1960（昭和35）年10月24日に、文部科学省の認可を得て、朝日新聞社が中心となって「教育設備助成会」（現・ベルマーク教育助成財団）を設立、スタートしました。

最初は学校の設備や教材をそろえるために始まった活動でしたが、運動がスタートしてから59年を経て、援助の対象は学校だけではなく、東日本大震災などの災害で被害を受けた子どもたちの支援にも積極的に取り組んでいます。



ベルマークの絵には国内外のお友達に『愛の鐘をなり響かせよう』という
意味があります。助け合いのシンボルになっています。

ベルマークの仕組みについて

昨年度よりベルマークの回収方法は、職員室前のベルマークボックスに直接入れていただくように変更しました。ベルマークボックスに、ご家庭より持参したベルマークをお子さまが番号ごとに分けて入れていきます。

集まってきましたら募集したボランティアの方あてにベルマークセットを入れて先生に渡します。そこから子どもが持ち帰りご自宅で点数ごとに仕分けして計算してもらい、ベルマークセットに入れて子どもに提出してもらいます。学校で先生からもらい執行部でまとめます。

ご自宅で無理のない範囲で手伝っていただけたら助かりますのでボランティアにご協力をお願いいたします。学校に来る必要はありません。ボランティアの募集については後日配布するお手紙をご覧ください。

ボランティア活動なので人手が集まらなければ、ベルマークが廃止になることも考えられますので、お手伝い可能な方はよろしくをお願いします。

これまでの活動で集まったベルマークで購入したもの

令和元年度は「簡易式吊り下げミスト・ホースセット」を購入しました。
運動場プール横に設置しています。



他には、朝の検温チェックをしているテント、体育館横のウォータークーラー、ボールなど、子どもたちのためになるものをこれまで購入してきました。昨年度たまったベルマークは繰り越しをして、今年度以降と合わせて購入するものを検討したいと思います。また購入した際は、ベルマーク通信でお知らせしたいと思います。

ベルマーク以外のものも回収しています

純正の使用済みカートリッジもベルマーク点数になります。

キャノン

エプソン

ブラザー

インクカートリッジは5点
トナーカートリッジは50点
になります。

上記のものは職員室前ベルマークボックスの上に回収箱を設置し、回収しています。

ベルマークの回収方法

①ご家庭でベルマークを切り取り、**番号(協賛会社の番号)ごと**に分けてください。

(番号がたくさんあると、お子さまがBOXに入れるのに時間がかかるので、少しずつ分けて持って来てもらえると負担が少ないかと思います。)

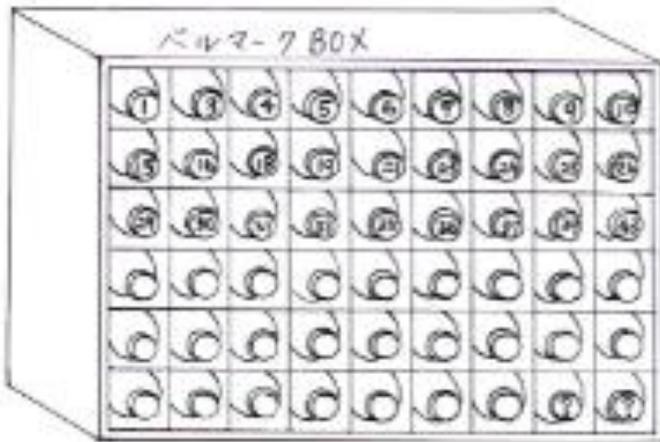
財団へマークを送る際の送料の関係で、線に沿って切るか、余裕を持って切る場合は右図の点線ぐらいまでの幅でお願いします。



②下図のベルマークBOXを職員室前に設置していますので、お子さまが**番号**の書かれたペットボトルに入れてください。もちろん保護者様が持って来ていただいてもかまいません。学校行事や、学校に来る用事のついでにBOXに入れていただければと思います。

皆様のご負担にならない程度でご協力お願いします。

ベルマークBOX



ペットボトルを引き出すと上の部分が開いています。



ベルマーク番号がわからないものは
[?]マークのペットボトルに入れてください。

ベルマークが集まってきましたら、ボランティアにご応募いただいた方に順番にお子さまを通してベルマークセットをお渡しします。ご自宅点数毎に分けて、合計点数を記入していただき、お子さまを通して担任の先生にご提出ください。その後、執行部が回収してまとめます。